

☆今号の特集☆

こびとの国を のぞいてみよう

たんだ新聞

たんだ新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
TEL 04 - 7184 - 1110



くさはらのこびと

エルンスト・クライドルフ／ぶん・え
おおつか ゆうぞう／やく
福音館書店 (E Aク)

森のむこうのくさはらに、こびとたちがすんでいました。

あるにちよう日、けっこんしきが行われました。花よめは、はなわをひたいにのせ、花むこはうわぎに赤いバラをさしています。こびとたちは、はなやかにおどりました。



スプーンおばさんのほりけん
アルフルプリヨイセン／作
ビョーリンベルレイ／画
大塚 勇三／訳 学研 (2ーブ)

もりのこびとたち

エルサ・ベスコフ／さく・え
おおつか ゆうぞう／やく
福音館書店 (E Aベ)



ペーテルとペトラ

アストリッド・リンドグリーン／文
クリスティーナ・ディーグマン／絵
大塚 勇三／訳
岩波書店 (E Aデ)

ある日とつぜん学校にやってきたこびとのきょうだい。クラスみんなはふたりといっしょにたのしい冬をすごします。

フィンランドの小人たちトントウ
マウリ・クンナス／作 いながきみはる／訳
猫の言葉社 (E Aク)



フィンランドではどこの家にも守り神が住んでいると言われていいます。それが小人のトントウ。みんなお年よりだけど、いろんなトントウがいるようです。たとえば…音楽ずき、おこりっぽい、はたらき者、どんなトントウがいるか見てみよう！

このほんだいすき

●月夜のみみずく

ジエイン・ヨーレン／詩
 ショーン・ショーエンヘル／絵
 くづなおこ／訳 偕成社



女の子とお父さんが、
 みみずくをさがしに森の
 おくまでいきます。何ど
 もよんでいるのに、見つ
 かりません。森のおくまでいくと、木のかげ
 からなにかがかくれていたのです、もう1かい
 よぶと、木にとまってくれました。女の子は
 みみずくを見ると家にかえりました。おもし
 ろかったです。

おのえしおのり (アビスタ本館)

●からすのパンやん

加古里子／絵と文 偕成社
 すくおもしろいです。からすのおはなし
 があったんだと思いました。

かねこみのり (アビスタ本館)

●三まいのおぶだ

おざわとしお／再話
 かないだえつこ／絵 くもん出版
 三まいのおぶだがやくにたってた。おもし
 ろかった。

篠部友香 (アビスタ本館)

●だいすきとくわん

せとうわきこ／作・絵
 フレーベル館
 おとこのこの、パパがすきだというきも
 ちがつたわってきた。

ふえきかざね (アビスタ本館)

●こねこのチョコノート

B. K ウイルソン／作
 大社玲子／絵
 小林いづみ／訳 こぐま社
 こねこのチョコをもういっこ、もういっ
 ことたべてるところがおもしろかったです。

おお田ひな子 (アビスタ本館)

●山賊のむすめローニャ

リンドグリーン／作 大塚勇三／訳
 岩波書店
 ちょっとむずかしい本だけど、とてもお
 もしろい本でした。テレビとほんどのお
 話のないように同じでした。長いお話がす
 きな人は読んでみて下さい。

鍵山夏希 (アビスタ本館)

●雪の日のパーティー

シル・バークレム／作
 岸田衿子／訳 講談社
 かわいいねずみたちが、なかよくくわらして
 いるところがかんだうしました。

にいつまりじゅ (アビスタ本館)

~~としょかんの人がすきな本~~

『うなぎのうーちゃんだいぼうけん』

(くろきまり／文 すがいひでかず／絵 福音館書店 EMス)



とおい南の海で生まれたうなぎのうーちゃん。生まれたときは、
 とうめいなたまごでしたが、海のながれにのっていくうち、だんだ
 ん大きくなり、日本にやってきました。川をのぼり、小さな魚や虫
 をたべてどんどん大きくなっていきます。それから何回もきせつは
 めぐり、うーちゃんの体の長さは1メートルになっていました。あ
 る日うーちゃんはどうしても海にもどりたくなり、力強くおよぎだ
 しました。ふたたび、たびだちのときがきたのです。

(アビスタほんかん すずきやすこ)

「このほんだいすきは、お名前と受け取り館をのせています」

●みしのたくかじい

松岡享子／作 大社玲子／絵

まずこの本をよみたいと思った理由は、本の題名がはんだいからよむことです。なぜかわからないけれどこの本が光っていました。内よりもとてもおもしろいし、あさがおでもすいかでもなくかぼちゃだったところがいちばん印象にのこりました。

柳澤りの (湖北台分館)

●ピン・ポン・バス

竹下文子／作 鈴木まもる／絵

スーパーマーケットのまえでとまって人がのって、うんでんしゅさんがにっこりわらったのがいいとおもった。

青木好誠 (湖北台分館)

●シトロとなぞのボロ車

(チュウチュウ通の)

エミリー・ロッダ／作

たしろちやん／え あすなろ書房
シトロがヘンリーをうけて、いろいろな人につかわせるのがふしぎで、やさしくておもしろいと思いました。わたしもこんな本が書きたいからがんばります。

い ししん (湖北台分館)

●おしいれのぼうけん

ふるたたるひ／さく

あきらくんとさとしくんは強い子だなど思いました!!先生にはやくあやまればいいのになーと思いました。また読みたいです。

中村心菜 (湖北台分館)

●とうせんまい

五味太郎／作・絵 偕成社

とうさんがまいごになるなんておもしろいし、おかしいと思います!!

あと、子どもが「あっちにいたいた」とか言ってもちがっていて、さいごにおとうさんがいてよかったと思います。

橋田有里奈 (湖北台分館)

●ももいろのきりん

中川李枝子／さく

中川宗弥／え

福音館書店

ももいろのかみがすくく大きいんだな、とおもいました。大きなきりんをつくれることがすいいね。

かたへらひな (布佐分館)



●きょうはなんのひ?

瀬田貞二／作 林明子／絵

福音館書店

まみ子の手紙をいろいろかくして、おかあさんが見つける本です。まみ子はけっこんきねんびおめでとうと、てがみのさいしょに字をかいていたのでした。わたしもびっくりしました。キマークがあつて、それをかさねると、けっこんきねんびおめでとうとかかれてるのがおもしろかったです。

えちごめい (布佐分館)

●11ぴきのねいじいさん

馬場のぼる／著 こぐま社

せんとうにとらねこのえらい人がいて、とてもおもしろくて表しに石の上でさかだちもしてておもしろかった!

中村紗理 (布佐分館)

●あいつせー

今年もやります! よむよむフリー!

図書館で本をよんでスタンプをあつめよう。我孫子市内の小学校でもスタンプをおせるよ。用紙は学校や図書館でもらえます。

4月23日(木)から、みんなの参加、まっています!



市民図書館にはうなぎさんのスタンプがあるよ!



こびととくつや

グリム/[原作] カトリーン・ブランチ/絵
藤本 朝巳/訳 平凡社 (E Aブ, ME Aブ)

あさ
まずしいくつやが朝おき
てみると、たった一足分の
こった皮は、ふしぎなこと
にすてきなくつになってい
ました。だれが作ってくれ
たのかを知ったくつやとお
かみさんは、お礼に服を作
ってあげることにしました



むかしばなしの 中に みつけた!



しらゆきひめと

七人の小人たち

ワンダ・ガアグ/再話・え
うちだりさこ/やく
福音館書店
(2ーシ, M2ーシ)

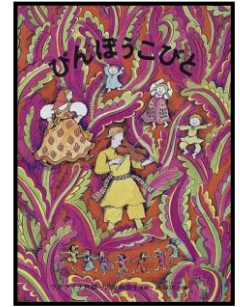
ちいさなたいこ

松岡 享子/さく
秋野 不矩/え
福音館書店
(E Aア, ME Aア)



びんぼうこびと

内田莉莎子/再話
太田大八/画
福音館書店
(E Aオ, ME Aオ)



おはなしの中に みつけた!

ちょっと
ながめ



だれも知らない小さな国
佐藤さとる/作 村上勉/絵
講談社 (1ーサ)



はなはなみんみ物語
わたりむつこ/作
本庄ひさ子/絵
リブリオ出版 (1ーワ)

耳の中の小人

クリスティーン・
ネストリンガー/作
ユッタ・パウアー/絵
松沢 あさか/訳
さ・え・ら書房 (2ーネ)



おおきいひとたちも よろしくね



小人ヘルベのぼうけん

オトフリート=プロイスラー/作
中村浩三/訳
偕成社 (2ーブ)



やさしいおじい
ルイス・スロボドキン/作・絵
こみやゆう/訳
徳間書店 (2ース)



せかいいち大きな 女の子のものがたり

ポール O. ゼリンスキー/絵
アン・アイザックス/文
落合恵子/訳 富山房
(E Aゼ)

へんしゅうこうき

こびとは、おうちの中にかくれていて、ときどきものをかくしたりいたずらをするんだって。そうか、わたしがよくものをなくすのは、こびとさんのしわざだったんですね…って、こびとのせいにしちゃいけません！ ☆次号は7月「夏休みのおすすめ」とくしゅうです。

